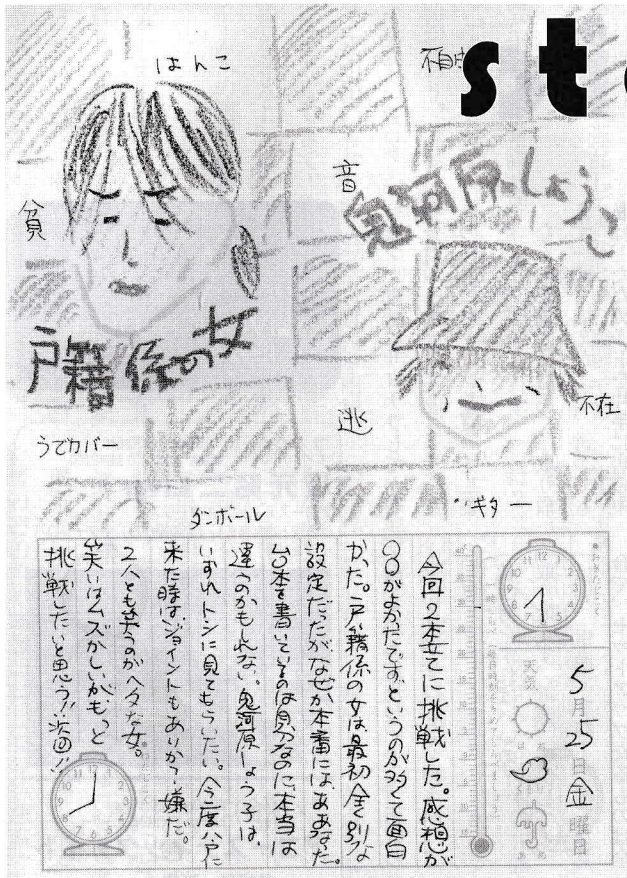


# stage



## 「窮鼠猫を噛む？」

演劇空間スペースベン

〈文/スペースベン代表・田中 勉〉

それにしても近頃物騒な事件が続いている。大阪での児童殺傷事件は正に衝撃的な事件であったが、死亡者が一人増える度に心が締めつけられる思いがしたものである。

誰もがそうであったと思うが、「もし自分の子供だったら？」と思うといたたまれない気持ちになっていた。それぞれの人は守られるべきであるが、そうすると亡くなってしまう子供の人は

誰が守ってあげられるのか？  
全くやり切れない思いばかりが募っていく。

追い詰められて行き場がなくなった鼠は、猫をも噛むというが、果たして彼は追い詰められた鼠だったのか？ 何が彼を追い詰めたのか？ いずれにしても、自分より弱い者を狙うというのは卑劣極まりない行為であろう。

最近のイジメ事情についてもそ

うなかもしれない。

イジメる方もイジめられる方も互いに何かの理由で追い詰められ、行き場の無くなった者達が噛み合い、傷つけ合う。

どこか逃げ道をつくっておいてあげれば、こんな事にはならなかったろうに...と、思わせられる場面が幾度もある。

社会全体にゆとりと潤いが無くなっていて、というだけでは済まされない、言い表せない現状がそこにある。

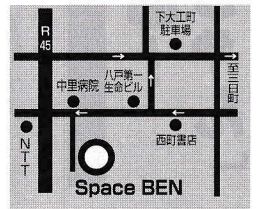
日常生活においてもまた然り。上下関係や派閥を作り、その勢力を伸ばそうと必死になる。

なんだか最近、枠を超えた現場レベルでの横の連携を結び一丸となつて取り組まなければ...という声をよく聞くが、ややもすると、その人達の人脈の枠だけが形成され、その中でだけの意見が集約されていく。

純粋な若者達の発想や考えが、真の意味で集約され反映されていく時代が来るのは、一体いつの事なのか...。現在、力も人脈もない彼らはきつと、上に立ちたいのではなく、平等に扱われたいだけなのだ...。

このアミューズにも取り上げていただき、6月号ステージ欄にも掲載していただいたが、現在米内安芸氏を代表とする市民アート集

※全て午後7時30分～、料金500円  
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。  
(近くに西町書店駐車場有り)

スペースベン  
八戸市柏崎1-11-8  
☎F&X 43-9876

### 7月のFriday Amusement Negative Shop

- 7月6日 387回  
安達良春  
プラスワンシアター
- 7月13日 388回  
ben select.004
- 7月20日 389回  
adachi select.004
- 7月27日 390回  
yamakei select.002

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか？ FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っております。

スペースベンHPアドレス <http://www.htv-net.ne.jp/fans/>  
Eメールアドレス [bunkakk8@hi-net.ne.jp](mailto:bunkakk8@hi-net.ne.jp)

団「ICANOF(イカノフ)」

という団体が、9月の美術館での企画展に向けて活動を続けている。

何事においても、一つの事を起こそうとする時には、大変な労力を伴うものであり、頭が下がるばかりであるが、イカノフにしても例外ではなからう。種々の批判や意見があったようである。

「八戸市を素敵なまちにしよう」とか言っているが、言っている事が難しすぎてよく分からない」

「市民レベルでアートを考えよう」という事だが、誰にでも分かる内容にすることが本物のアートではないのか。難しいゴタクを並べるだけなら誰でも出来る」等々の

意見が寄せられた。

勿論こんな批判的な意見ばかりではなく、賛同の意見も多く寄せられたようであり、現在百二十名を超えるメンバーで活動しているようである。

魚釣りをしない人が、魚釣りに夢中になる人達の気持ちが分からないのはしょうがない事であるが、魚釣りをする人を責める必要はないのではなからうか。責めるくらいならばホツといてくれ、もうそれは暴力としか言いようが無い。もし、私ならば、何故そんなに夢中になれるのか、その人達と一緒に行動し、その訳を見つけてみたいと思うのだが...。